



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況 案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア

☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
5	4	5	3	4	5

☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 17名)

☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 8名)

☆つしま紹介所 (有料職業紹介)

☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

《3月行事予定》

- 1日 実地指導 (ナイス・ホーム)
- 10日 外食DAY
- 19日 運営推進会議
ナイス・ホーム (13:30-14:30)
ナイス・デイ (14:30-15:30)
- 20日 避難訓練
- 22日 誕生日会

《教室案内》

・和太鼓 月曜日(年間 35回)

場所：愛西市川淵コミュニティ

・コーラス 水曜日(月 2回)

場所：喫茶てのひら

※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。

各教室月謝制で、定員あり。
詳細はお問い合わせ下さい。



環境整備/S・O・S

毎朝8時前、通勤途中に某銀行の前を通りかかります。その銀行の前は信号があり、赤信号でよく停まる時に、見る光景があります。それは、男性の行員さんたち10人程が、仕事前に銀行の環境整備。草取り、ゴミ拾い、花の水やり、窓拭き等など。雨の日も傘をさして美化運動。「大変だなあ〜。キレイになるな〜」と、他人事のようにいつも観察していました。そんな中、先日、利用者さんご家族がから施設の環境について、ご指摘、ご要望がありました。

私はハッと思いました。10年以上もこの生活感あふれる環境にいつの間にか慣れてしまっていることに気がきました。恥ずかしい話、「散らかっているなあ〜」と思っても、「また散らかるし…」と見過ごしていた自分がいました。

貴重なご意見を頂いた事で、翌日よりさっそく施設内外の環境整備に励んでいます。見た目も中身もみなさんに満足していただけるよう頑張ります。(M・O)

おかえりなさい/ナイス・ホーム

約8ヶ月前、入院のため登録解除をされた方のご家族から先日、ご連絡を頂きました。「治療が終わったのでまた利用させてほしい。」と仰ってくださったのです。登録解除後も時々、ご本人の状態などを聞かせて頂いていました。「2月には治療が終了する予定」とも聞いていたので、先日のご連絡で再度聞かせていただけることを嬉しく思いました。

登録当初、訪問対応で関係作りが中心でした。ご本人は認知症だという自覚がないため、「デイサービスなんて行かない！」という気持ちが強かったのですが、何とか通い(デイサービス)へ繋げたいと、ご家族と協力しながら、やっと通い利用に繋がりはじめた矢先の入院で本当にビックリした事を思い出します。

今回はゼロからのスタートではなく、その頃の関係性がご本人の中に少しでも残っている状態からのスタートだと期待し(期待通りにいかないことも覚悟の上)、その頃より、更にご本人とご家族の生活の質が上がる目標を見据えて関わりが始められるといいなと思います。(Y・O)

家族懇談会/愛宕の家

年に2回行う家族懇談会が2月16日に開かれました。出席人数はご家族が3名、ケアマネジャーが1名、そして代表と統括管理者の6名でした。私が一週間前、参加されるご家族に「すみません。参加者が少ないのですが…」と声を掛けると『そういうときだからこそ色々話せることもあると思うよ。』と仰ってくださいました。その言葉に救われ、当日を迎えました。

話題は“老人ホーム介護施設紹介センターが契約しないかと営業に来た。”ということから話が膨らみました。



その施設紹介センターは病院等から入居先を探している人の情報ももらい、紹介センターと契約をしている施設を入居希望者に紹介する。そして契約が成り立てば成功報酬として見合った金額を紹介センターに施設が支払うといったものでした。現実的に、これだけ色々な機能を持った施設が増えると、紹介センターという存在はありがたいのだろうと思います。確かに入居者が絶えない様にするのは大変です。しかし、施設紹介センターという存在に違和感を拭えない私でした。

家族懇談会では、“どんな施設なら良いと感じてもらえるか”“どんな施設が魅力ある施設なのか”そんな話題に花が咲きました。そして心温かい声(叱咤激励含む)を入居しているご家族から頂き、愛宕の家という施設をもっと多くの人に知ってもらおう努力を自分たちでしていきたいと改めて感じました。ご家族やケアマネジャーと“色々”な話ができる愛宕の家家族懇談会でした。(M・T)

小規模多機能居宅介護 実地指導/S・O・S

3月1日(金)、津島市によるナイス・ホームの実地指導がありました。9時から開始し、終了したのは13:30頃。4名の津島市職員の方がみえ、事前提出書類をもとに雇用条件や書類、現場確認をされました。

実地指導のための事前提出書類を準備していく中で、人員基準や設備、運営基準、制度等を改めて見直し、職員間の意識の統一を諮るよい機会になりました。統一した状態で実施指導に挑んだわけですが…質問の受け答えをする中で更に知識を深めることができたと思います。

日頃、現場で当たり前のようにしているカンファレンス。そのカンファレンスで何を話し合っているのか、ある決まった項目に沿った検討がされ、記録してあるか。例えば、ベッド柵の4点は拘束とみなすがその4点柵が必要な理由がしっかりとカンファレンス等の記録に残されているか…すべてクリアしていたつもりでも、過去の記録の甘さ、分かりにくさを実感しました。日々の現場優先、でも誰が見てもわかる記録を残す、これも優先。公費を受ける仕事の重みを実感しました。(M・T)

木曾三川公園
ちゅーりっぷ祭



愛知県植木センター
極見へ



♪春の小川♪
利用者さんとの合作



介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況

- 《段位取得者》 1~6期生 (12名)
- 《申請中》 8期生 (1名)
- 《評価中》 10期生 (3名)



《編集後記》

車を運転していると、車イスを自分でこぎ、移動してみえる男性をよく見かけます。先日は横断歩道で信号待ちをしてみえる車イスの女性をみかけました。私だったら、車イスで一人で外出する事が出来るかな?と、フツとよぎりました。支障があるから外出できないではなく、それでも外出できる街と人でありたいなあと思いました。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。